

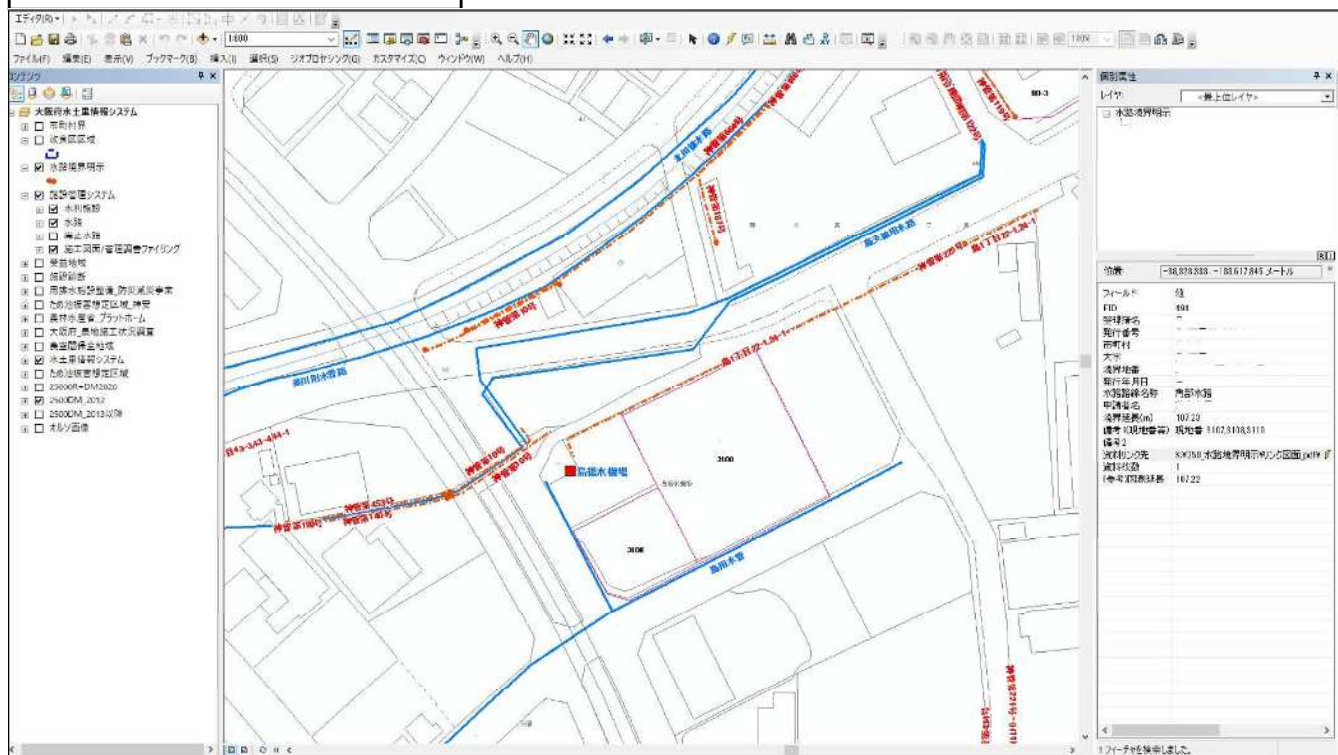
今回紹介する団体：大阪府土地改良事業団体連合会（府内改良区）

取組概要

内容： 水土里システム地図情報を活用し、施設管理図だけではなく、水利施設の明示申請書類や境界確定図をハイパーリンクさせることで、土地改良区会員や近傍工事施工業者等との協議や質疑に迅速にかつ適格に回答でき、関係機関と共有することで土地改良区の運営事務をより合理化している。

経緯： 土地改良区が所有管理する水利施設において境界確定がなされている路線・区間について、管理区域を明確とするため、過去から蓄積されていた境界確定通知書・境界査定結了通知書・受領書・確定図等を電子化し、水土里情報システム上へ明示路線図として作図し、各路線図に電子化した資料をハイパーリンクすることで管理区域が明確化され、隣地との境界トラブルを防止できる。また隣接土地所有者への管理区域説明や、管理区域に隣接する公共工事関係者にはGISデータを用いて視覚的な説明、協議が可能となる。

水土里情報システム運用データ



コンテンツウインドウに「水路境界明示」を追加

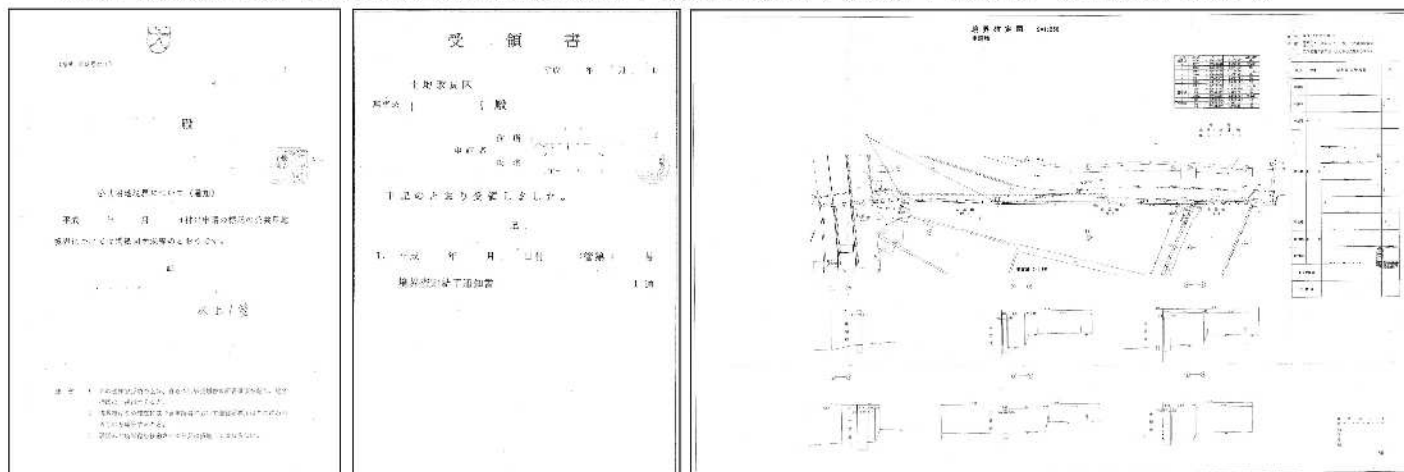
青線：改良区水利施設（水利施設名称ラベリング）

赤線：水利施設境界確定区間表示（改良区管理番号ラベリング）

明示区間ラインデータ属性関係市、地番、明示申請者等の必要情報記載し、資料検索効率を向上させる

明示区間ラインデータへのハイパーリンク情報(一例)

明示各路線に電子化を行った境界確定通知書・境界査定結了通知書・受領書・確定図等をリンク



取組による効果

土地改良区に膨大に蓄積された管理施設の境界確定・明示関係資料を書庫より検索し、関係者に提示するのに手作業では体力的な限界やヒューマンエラーの発生などといった業務停滞を招く事があったが、水土里情報システム上へ境界確定や明示資料等の書類を電子化し、データハイパーリンクを行うことで必要な時に必要な情報を職員誰でも管理・参照できるようになり、業務の効率化がはかれる。

また、管理区域近郊での工事時の打合せ協議や、管理地の隣接土地相談時においても水土里情報システムによる視覚的説明が可能となり、引継ぎ業務等の効率化も実現可能である。

今後の活用予定

水土里情報システムを運用している土地改良区に対し本システムの導入を進め、過去からの蓄積資料ペーパーレス化推進により、作業時間の削減や人的ミスの予防が可能となり、業務が従来の50%程度に節減でき効率化が図れた。

GISシステムのバージョン情報

スタンドアロン

ArcGIS ver10/ArcReader10.8.2

QGIS ver3.42

■お問い合わせ先

大阪府土地改良事業団体連合会 事務局 06-6232-8365